

氷見の漁業伝統

富山県 / 氷見市



三柱社



えびす堂



網元家屋

氷見市藪田村（藪田地区・小杉地区）では、豊漁と海上安全を祈願する祭禮として、「恵比寿祭」と「起舟祭」がある。

「恵比寿祭」は、年2回（6月10日、11月20日）、魚取祭（えびす講：潮水で手を洗っている者の祭り）として、藪田地区は「三柱社」、小杉地区は菊理媛像石神社境内の「えびす堂」で行われている。小杉地区には、木彫彩色の御神像が祀られている。

「起舟祭」は、舟起しとも称される舟霊さまの祭りで、漁業の事始めの日に生産を予祝する信仰儀礼と水夫揃いの祝いとして、2月11日（旧暦の1月11日：1が3つも重なるめでたい日）に、豊漁と海上安全を祈る舟祝いで、前日に舟を上げ掃除をし、鏡餅と神酒を供え11日の朝、舟を下げ、干しイカ、煮豆、イワシの煮物などの縁起物を肴に酒を飲んだという。

明治の頃までは、垂姫社（藪田）、菊理媛像石神社（小杉）において祈願祭を行った後、神社に奉納されている朱塗りの大盃を船溜の船上に運び、古老から順に大盃を囲んで飲み祝っていた。

また、網元の家では、水主揃いの祝いとして、水夫・子分衆を招き盛大に祝宴が行われていた。現在では舟に大漁旗を飾り揚げ、神社で祈願祭を行ない、大盃で御神酒のおさがりを頂いた祝い後、別の会場で、地区全体の祝宴が行われている。（現在は小杉地区のみ）

TOPICS

- ・恵比寿祭 6月10日 開催 ・起舟祭 2月11日、11月20日 開催
- ・特産品：寒鰯、氷見鱒

お問い合わせ先

氷見市水産漁港課
TEL / 0766-74-8101

【交通】

車 / 氷見駅から15分

